





10mほどのクライムダウン、荷が重ければアンザイレン。

奥穂頂上
コル手前の夏の鎖場は氷結していることが多く、奥穂を目指す場合、アプザイレンさせられる時がある。(逆方向はそれほどでもない)

コバの耳
シヤンダルム
コブの頭
雪が深い場合はルートファインディングが難しい、氷結している場合はアンザイレン。

快適な岩稜であるが、疲れが出て苦しい、右手のルンゼもルートにできる

コルから10mほどが核心部、荷が思いと体勢を保つのに苦勞する、残雪ハーケン2枚、

岩稜となり、ラッセルから解放される、下部はロープを結ぶ必要はないが、要所にはピレイピンがある、荷が思い場合は、上部でアンザイレン、高度感も出てくる、

尾根が不明瞭になりだす地点で古ヘルンゼを2本送り、飛脚尾根へ、雪が不安定な場合はロープを結ぶ、尾根の手前は傾斜が急

尾根は次第にセマ谷の斜面に吸収される、雪が堅い場合、スリップすれば、天狗沢まで飛ばされる恐れがある、

冬は吹きだまりの深いラッセルを強いられる、尾根の傾斜がゆるむと森林限界で、雪もやや締まる、春は雪が腐るのでやはり通る、1日で抜け出る場合、早朝にここを通過するべきだ

風はあたるが幕営可能

冬のルート：
天狗沢はたどれないので、末端からやや右手に取り着く

白出大滝

F尾根上へ向かい、セマの少ない斜面を拾って登る、上部ではルンゼ状になり、ひょっこりF尾根のコル状へ飛び出し、冬ルートに合する、

春のルート：

4月に入れば天狗沢の雪は安定するので、天狗沢ゴルジュ帯手前まで、沢沿いにつめることができる、傾斜が急なので、日が高くなると沢の雪は極端に腐る、

ゴルジュ内の深雪のラッセル、小人数では苦しい、春は締まっている、